

相談先 気軽な気持ちで相談してください

専門医療機関

- 市立野洲病院 脳神経内科
- 認知症疾患医療センター
(藤本クリニック含め県内8か所)
- 県立総合病院(老年内科)など



無料電話相談

公益社団法人
「認知症の人と家族の会」滋賀県支部
電話:0120-294-473
月～金(10時から15時まで)



もの忘れサポートセンター・しが／滋賀県若年認知症コールセンター(藤本クリニック)
電話:077-582-6032 相談専用:090-7347-7853

早く相談や受診することの3つのメリット

メリット1

事前に準備ができる

本人や家族が話し合い、治療方針を決めたり、利用できるサービスを調べたりして、自分らしく生きるヒントを見つけることができます

メリット2

治療で改善が期待できる

認知機能低下の原因はさまざまですが、硬膜下血腫、脳腫瘍など治療により認知症のような症状が改善する場合があります

メリット3

今の状態を維持できる

症状が悪化する間に適切な治療やサポートをすることで今の状態を維持し、進行のスピードを遅らせることができます

受診の時のポイント

- ★できるだけ家族が付き添いましょう
- ★心配に思っていることや相談したいことはメモをして伝えましょう

対応のポイント

- ★ゆっくりと短い言葉で伝えましょう
- ★説得や否定をせず、気持ちを受け止めましょう
- ★背中をさするなど、スキンシップも安心感が生まれます

野洲市の支援施策(一部)

ひとり歩き高齢者等事前登録事業(1度でも行方不明があれば早めに登録を)

登録者に配布している見守りシールを貼る

高齢福祉課・地域包括支援センターで事前に情報を登録する

野洲-XXXX
野洲市役所077-587-1121
守山警察077-583-0110

行方不明発生

家族から
守山警察署へ連絡
077-583-0110

見守りシール(靴や帽子に貼る)

★このシールを貼っている人が困っている様子なら、正面からゆっくりと優しく声をかけてあげてください。必要時は警察へ連絡をしてください。



行方不明に気が付いたら、すぐに連絡をしましょう

認知症初期集中支援チーム

認知症専門医と医療・介護の専門職がチームで医療や介護の利用支援を行っています。

カフェおこしやす

認知症の人や家族だけでなく、全ての市民が正しい情報を得たり、交流ができる場所です。



あれ?

と感じたときの

野洲市認知症相談ガイド

「最近、うちのおじいちゃん
意欲が無くなって以前と変わったけど、
もしかして…」



✓ 最近もの忘れが気になる
もしくは

✓ チェックリストにひとつでもあてはまる



認知症チェックリスト

- 同じことを何回も話したり、尋ねたりする
- 出来事の前後関係がわからなくなった
- 服装など身の回りに無頓着になった
- 水道栓やドアを閉め忘れたり後片付けがきちんとできなくなった
- 同時に二つの作業を行うと、一つを忘れる
- 薬を管理してきちんと内服することができなくなった
- 以前はテキパキできた家事や作業に手間取るようになった
- 計画を立てられなくなった
- 複雑な話を理解できない
- 興味が薄れ、意欲がなくなり、趣味活動などを止めてしまった
- 前よりも怒りっぽくなったり、疑い深くなった

ひとつでも
チェックがいたら
まず相談

(群馬大学名誉教授) 山口晴保氏

これって、もしかして「認知症」???と思ったら…
すぐに、ご相談ください



相談窓口

野洲市地域包括支援センター 野洲市辻町433番地1

電話:077-588-2337 FAX:077-586-3668

平日:午前8時30分～午後5時15分

電話でも来所でもOKです。ご自宅へ訪問することもできます

認知症の経過と利用できるサービスについて

認知症の進行

軽度認知障害 (MCI) 日常生活は自立

初期 軽い症状はあってもほぼ自立している状態

中期 見守りや日常生活に手助けが必要な状態

後期 日常生活に手助けや介護が必要

主な症状
(日常生活上の支障)

- 片づけが苦手になる
- 外出するのが面倒
- 小銭での計算が面倒でお札で支払う
- 新しいことが覚えにくい
- メモをとることが増えた
- 家族や友人と会話を楽しめない

- 同じことを繰り返し聞く、言う
- 趣味や日課をやめてしまう(意欲の低下)
- 車をこすることが増える
- 買い物に行くと同じものばかり買う
- 約束や予定を忘れることが頻繁

- 何をすることも時間がかかる
- 薬を飲んだかわからなくなる
- 些細なことで怒りっぽくなる
- 自宅から離れたところで道に迷う
- 顔を洗わない、入浴を嫌がるなど身だしなみを気にしない

- 着替えやトイレや食事に介助が必要
- 身近な家族の顔がわからない
- 自分の感情や気持ちをうまく言葉にできない
- 歩行が不安定、歩行が困難になり、寝たきりとなる場合がある

身近な人の
気持ち

- 本人の物忘れに気づき始めるが今まで通りに本人と関わる
- まずは相談!相談すると、少し気持ちが楽になります

- 何度も同じことを聞かれしんどい
 - 言えばできるはず
 - 覚えられないことが増え、とまどう
 - 否定(病気と認めたくない)
- 認知症カフェでみんなでほっこりしましょう

- 火の不始末などが心配
 - 怒りっぽくなり、困惑
 - ひとりで生活できるか心配
 - 混乱や怒りでゆとりがなくなる
 - 助けてほしい、つらい
- 人に話すことも大切です

- 介護量が増え、気持ちが休まるときがない
- あきらめの気持ちもうまれる
- 割り切り(なるようにしかならないと思う)

本人と関わる人の
生活上のポイント

- 心配なことや認知症なのか迷ったときはかかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう
- 地域の活動やサークル等、今までやってきたことを続けましょう
- 火災報知機をつけたり電磁調理器にかえることを考えましょう

- 認知症を隠さず、身近な人に伝え、理解者や協力者をつくりましょう
 - 困ったことがあれば、かかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう
 - ミスや失敗を責めず、本人の不安を和らげましょう
 - 運転免許の返納を考えましょう
- 「ひとり歩き認知症高齢者等事前登録」も早めに考えましょう

- 火の不始末や行方不明など、万一の時に備え、対策を考えましょう
- 将来に備えて成年後見制度の利用について検討しましょう
- 周囲の人と関わりを持ち続け、大変なことは手伝ってもらったり、見守りを依頼しましょう

- 家族だけで支えようとしなくて、介護保険などの公的なサービスを積極的に利用しましょう
- 介護する家族の健康や生活を大切にしましょう
- 人生の最期をどう迎えるか、早い段階で医師などと話をしておき、どういった対応が必要かを確認しておきましょう

利用できるサービスなど

社会参加・仲間づくり	老人クラブ、ふれあいサロン、趣味のサークル、いきいき百歳体操、認知症カフェ シルバー人材センター、介護予防・日常生活自立支援総合事業
医療・介護保険サービス	かかりつけ医、認知症専門医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師 通所介護(デイサービス、デイケア)、訪問介護(ヘルパー)、訪問看護、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所(ケアマネージャー) 短期入所生活・療養介護(ショートステイ)
見守りや生活への支援	配食サービス、認知症サポーター、キャラバン・メイト、民生委員・児童委員、野洲市見守りネットワーク、緊急通報システム事業 地域福祉権利擁護事業(日常的金銭管理)、成年後見制度(財産管理、身上監護)
家族支援	介護者家族の会、男性介護者のつどい中北の家、認知症カフェ、認知症のひとと家族の会(滋賀県支部)、もの忘れサポートセンター・しが、ひとり歩き認知症高齢者等事前登録、ひとり歩き認知症高齢者等位置情報端末機器購入費等補助金
住まいの支援	住宅改修、福祉用具のレンタルや購入、見守り付きの住宅(サービス付き高齢者向け住宅) グループホーム、介護保険施設(特別養護老人ホーム、老人保健施設)

